

コミュニティ・スクールだより



南関町教育委員会教育課

南関町の各小中学校では、学校と保護者・地域住民等と信頼関係を深め、一体となって学校運営や児童生徒の健全育成に取り組むため、文部科学省版のコミュニティ・スクール(以下CS)の指定を受け3年目を迎えました。

本年度の各学校の委員の皆様は下記の通りです。何かありましたら直接学校か委員

南関第一小学校	南関第二小学校	南関第三小学校	南関第四小学校	南関中学校
大里 耕守	松本 桂子	齋田 秀利	山口 明美	野田 泰臣
武田 房子	釘崎 収悟	荒牧 好幸	清田 政勝	堀 千鶴子
嶋永 健一	加藤美智子	福山 正英	松永 真哉	大石 和幸
菅原 裕	釘崎眞貴子	宮本 征典	打越 洋幸	佐藤 安樹
坂本 泰子	立石 葉子	北島 瑞穂	松永 杏奈	細貝 両作

の皆様にご連絡ください。南関町のCSがより良いものになりますよう地域とともにある学校づくりを応援していただければ幸いです。よろしくお願ひします。

第1回学校運営協議会全体会

(6月25日 14:00~16:30 役場第1会議室他)

第1回目の学校運営協議会全体会では、25名の委員の皆様へ辞令交付を行いました。また、本会議の副会長には、前教育長の大里耕守先生が指名されました。

会長(谷口教育長)の挨拶では、社会に開かれた教育課程の実現や学校と地域の連携・協働、南関町のめざす子ども像や本年度の重点取り組み等についてのお話がありました。

今回の実践報告では、南関第三・第四小学校と中学校からの発表をいただきました。

南関町のめざす子ども像

～夢・絆・挑戦～

- 南関町を誇りに思い、ふるさとを愛する子ども
- 明るくたくましく、元気にあいさつできる子ども
- 思いやりの心を持ち、自分の考えを伝えられる子ども
- 夢に向かって、自ら学び挑戦する子ども

南関第三小学校



南関第四小学校

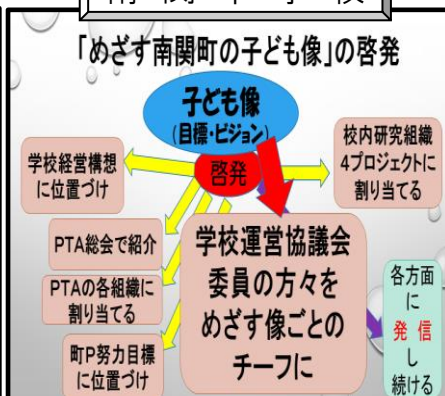
学校運営協議会の任務

現状(良いところ・課題)を共有し、「どんな子どもに育てるか」「そのためにどんな事業にしていけるか」「その事業の成果はどうだったか」を熟議し、協働する中核を成す。

○今行われている事業(行事)が子どもを育てるものになっているかを熟議し、協働する。(運動会・チアライズ秋祭り・PTA行事・クローバー等の行事などについて意見やアイデアを出す。)

○学校関係者評価を行う。

南関中学校



第1回南関町学校運営協議会全体会でいただいたご意見等

○宿題が多いと思うがいかがなものか。以前は外でよく遊んでいたが今の子どもたちは遊ぶ暇もないように思う。

○南関町教育大綱に「南関町に生まれ育ち南関町の小中学校で学んでよかったと思える教育と、南関町に住んで友に学び生きがいを実感できる生涯学習を推進します。」とあるが、町外からの転入も多くなって

きている実態がある。

○資源回収では、児童生徒も減少してきたので連絡が徹底しなかったり、世話人も少なくなり回収にも苦労している。

○私も学校応援団のコーディネーターとして一年間活動してきたが、今回示していただいた協働活動依頼書や年間計画表があれば助かる。

第2回学校運営協議会全体会

(8月19日 14:00~16:30 役場第1会議室)

熊本県統括コーディネーターであられる山平敏夫先生に、「地域学校協働活動本部設置を通して地域と学校の連携・協働をどう進めるか」というテーマで講演をいただきました。



H27、12月の中教審答申から
誰かが何とかしてくれる、のではなく、自分たちが「当事者」として、自分たちの力で学校や地域を創り上げていく。子供たちのために学校を良くしたい、元気な地域を創りたい、そんな「志」が集まる学校、地域が創られ、そこから子供たちが自己実現や地域貢献など、志を果たしていける未来こそ、これからの未来の姿である。



全体会の後半では、テーマを「学校の良さをさらに伸ばし課題解決を図るために、地域と学校の連携・協働をどう進めるか」として、学校ごとの協議を実施していただきました。



地域と学校が育てたい子ども像、めざすべき教育のビジョンを保護者や地域と共有し、目標の実現に向けて互いにパートナーとして連携・協働し、未来を担う子どもたちの成長を支える取組が求められています。

